

IBM

@server

iSeries 270、810、820、825

30xx 主記憶機構カードのインストール

バージョン 5







@server

iSeries 270、810、820、825

**30xx 主記憶機構カードのインストール**

バージョン 5

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

---

## メモリーのインストール

ここでは、メモリー (主記憶機構カード) をシステム装置にインストールするためのステップを、2884 カード・アSEMBリーの追加方法と併せて紹介します。

---

### はじめる前に

- \_\_ 1. まず最初に、次の説明の内容を把握してから作業を始めるようにしてください。この手順の中には完了できないステップもあることを覚えておいてください。
- \_\_ 2. このフィーチャーは、ユーザー自身でインストールすることができます。このフィーチャーのインストールは、専門用語の知識があり、システムに関する経験のあるユーザーを想定しています。自分でインストールを行わない場合は、IBM® または正規販売業者にお問い合わせください。有料でフィーチャーのインストールを行います。
- \_\_ 3. この手順では、以下の作業を行います。
  - システム装置カバーを取り外す。
  - 新しいハードウェアを取り付ける。
  - カバーを取り付ける。
  - オペレーティング・システムを初期プログラム・ロード (IPL) する。
  - 新しいハードウェア構成を検査する。

ユーザーのジョブを完了し、システムのバックアップを取り、システムの IPL を実行して、ハードウェア構成を検査するために時間がさらに必要になります。

- \_\_ 4. インストール中に不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。
- \_\_ 5. これらの説明中の図は、ご使用のシステム装置と少し異なる場合もあります。ただし、作業を実行する手順は同じです。
- \_\_ 6. オペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムの最新バックアップが手元にあることを確認します。PTF を最後に適用した後でオペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムのバックアップをとっていれば、そのバックアップでかまいません。
- \_\_ 7. 部品が正しくなかったり、欠落している、あるいは外観上損傷がある場合には、以下にご連絡ください。
  - IBM 特約店
  - 購入元 (IBM Direct など)
  - IBM 営業担当員
    - 1-800-300-8751 (米国)
    - 1-507-253-5242 (全世界共通)
- \_\_ 8. 新しいフィーチャーをインストールする前に、PTF 前提条件があるかどうかを確認してください。次の Web サイトにアクセスします。

<http://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/10000051>

- a. 「**All Documents**」を選択します。
- b. 「**Collapse**」を選択します。
- c. 「**General Information**」を選択します。
- d. 「**Offerings**」を選択します。
- e. 「**Feature Prerequisites**」を選択します。
- f. 「**Customer Install Features Prerequisites**」を選択します。
- g. この製品のフィーチャー番号と OS/400<sup>®</sup> リリースを見つけて、前提条件を調べます。

---

## システム装置の電源オフ

- \_\_ 1. 「システム・パフォーマンス調整」を、オプション **0** 以外の値に設定します。
  - \_\_ a. iSeries コマンド行で、**WRKSYSVAL (QPFRADJ)** と入力し、実行キーを押します。
  - \_\_ b. 「システム値の処理」画面で「**変更**」オプションを選択し、実行キーを押します。
  - \_\_ c. パフォーマンス調整値がオプション **1**、オプション **2**、またはオプション **3** である場合は、その値を変更する必要はありません。実行キーを押します。

パフォーマンス調整値が **0** (調整なし) である場合、その値を **2** に変更する必要があります。
  - \_\_ d. F3 を 1 回押して、「メイン・メニュー」に戻ります。
- \_\_ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します (WRKACTJOB)。
- \_\_ 3. すべてのジョブが完了していたら、iSeries コマンド行に **pwrdownsys \*immed** と入力し、実行キーを押します。

**注:** インストール中に不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。

- \_\_ 4. iSeries の電源が完全に遮断されたら、すべての PC をシステム装置から外します。システム装置に接続されているすべての装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- \_\_ 5. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- \_\_ 6. システム装置の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- \_\_ 7. システム装置の背面カバーおよび側面カバーを取り外します。31 ページの『装置カバー』を参照してください。
- \_\_ 8. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。 フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。

**注:**

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。 2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンド

を着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

- b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。

---

## 記憶機構の位置の識別

お持ちのシステム・プロセッサによって、記憶機構はバックプレーン上のプロセッサと一緒にいる場合、プロセッサ・カード・アセンブリー上にある場合、あるいは別個のカード・アセンブリー (フィーチャー 2884) の中にある場合があります。

— 1. ご使用のシステム装置は iSeries 825 ですか?

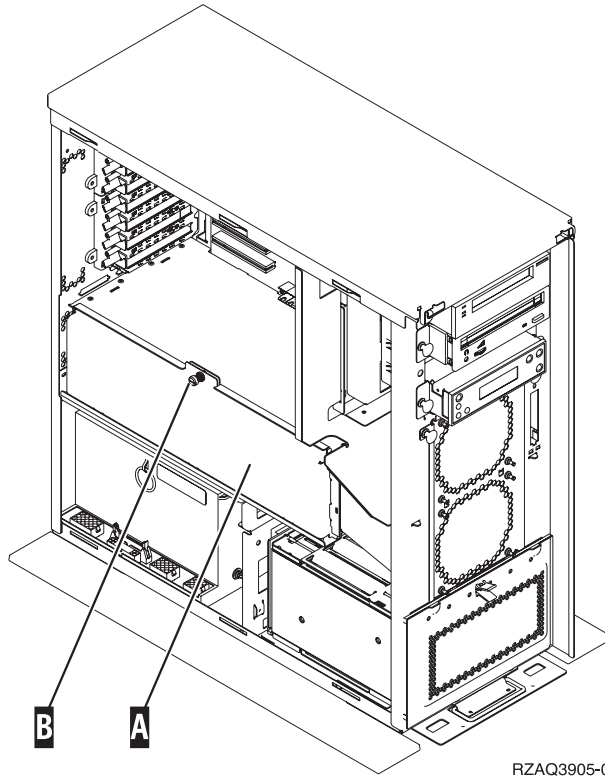
— いいえ: 次のステップに進みます。

— はい: 22 ページの『iSeries プロセッサ・カード・アセンブリーへの記憶機構の追加』に進みます。

— 2. システム装置に、4 ページの図 1 に示すようなアクセス・カバー (A) がありますか?

— はい: 次のステップに進みます。

— いいえ: 記憶機構は、270 または 810 のバックプレーン上のプロセッサと一緒にいます。19 ページの『バックプレーン上のプロセッサの位置に記憶機構を追加する』に進みます。

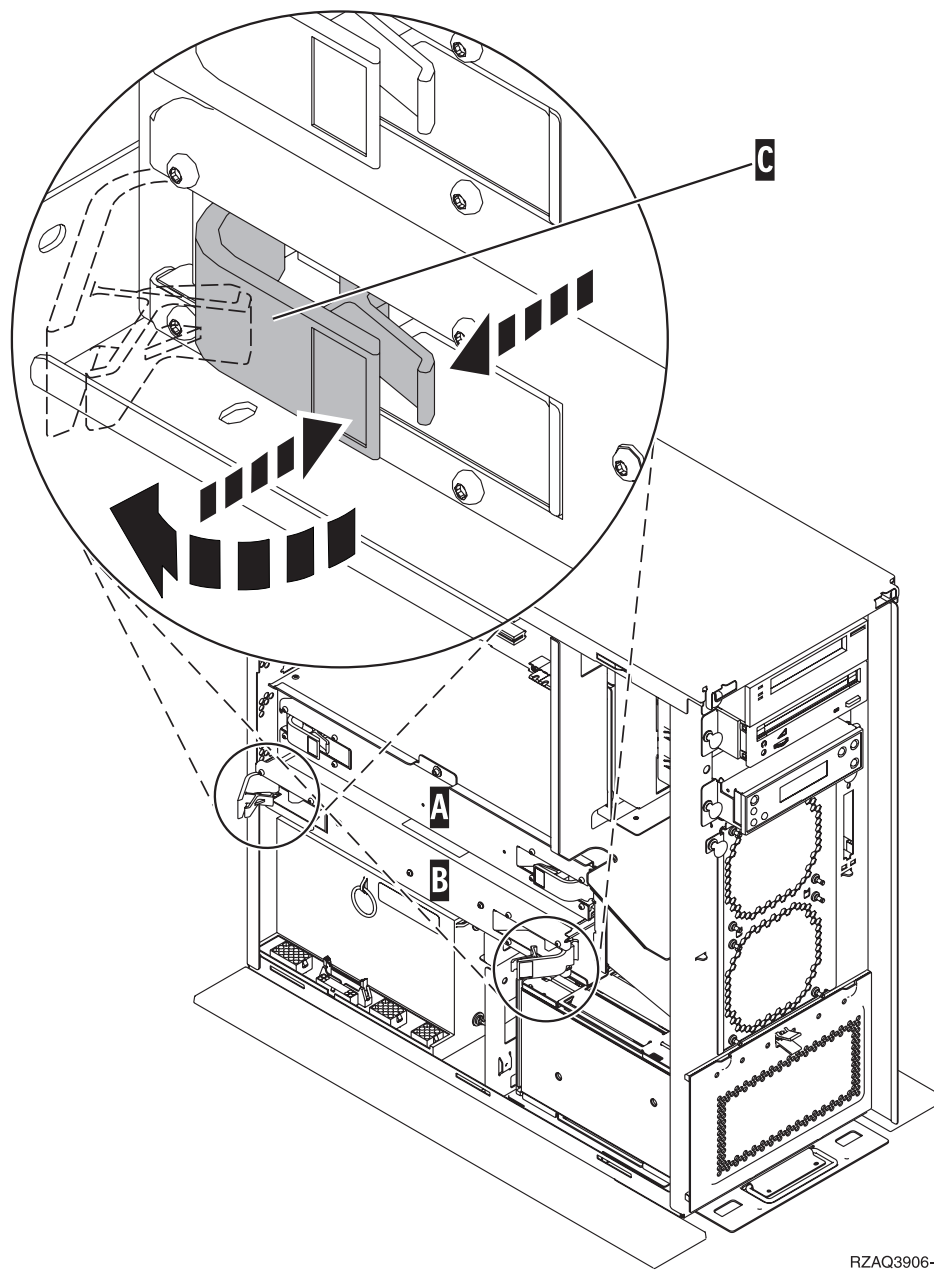


RZAQ3905-0

図1. アクセス・カバーの位置

- \_\_\_ 3. アクセス・カバーを取り外します。
- \_\_\_ 4. オーダーでは 2884 カード・アセンブリを受け取りましたか?
  - \_\_\_ はい: 次のステップに進みます。
  - \_\_\_ いいえ: すでに 2884 カード・アセンブリがありますか?
    - \_\_\_ はい: 15 ページの『2884 カード・アセンブリへの記憶機構の追加』に進みます。
    - \_\_\_ いいえ: 17 ページの『プロセッサ・カード・アセンブリへの記憶機構の追加』に進みます。
- \_\_\_ 5. 2884 カード・アセンブリをインストールします。
  - \_\_\_ **270** または **810**: 次のステップに進みます。
  - \_\_\_ **820**: ステップ 18 (8 ページ) に進みます。
- \_\_\_ 6. **5** ページの図 2 は、2884 カード・アセンブリ **B** およびプロセッサ・カード・アセンブリ **A** を示しています。





RZAQ3906-1

図2. 270 または 810 システム装置内のカード・アセンブリーの位置

- 7. 以下のようにして、空のカード・アセンブリー **B** を取り外します。
  - a. 2884 上の 2 つのラッチを、カード・アセンブリーが少し「飛び出る」まで外します。図2 **C** を参照してください。
  - b. 両方のラッチを同時に引いて、カード・アセンブリーをシステム装置から取り外します。
- 8. 2884 カード・アセンブリーを見つけます。
- 9. 次の説明を読んでから、ブランクの充てんカードを取り外し、記憶機構をカード・アセンブリーに取り付けてください。
  - 6 ページの図3 は、主記憶機構カード・アセンブリー上の記憶機構カードの位置を示しています。

- 記憶機構カードは、位置 **E**、**F**、**G**、および **H** に取り付ける前に、**C** と **D** に取り付けてください。
- 記憶機構は 4 つのセットで取り付けます。たとえば、位置 **E** と **G** だけを先に取り付けて、後で位置 **F** と **H** に取り付けることはできません。4 つの記憶機構カードを一度に取り付ける必要があります。
- 記憶機構カードのペアは、128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB のいずれかでなければなりません。**E** と **G** に取り付けるペアは、必ず **F** と **H** に取り付けるペアと同じにしてください。

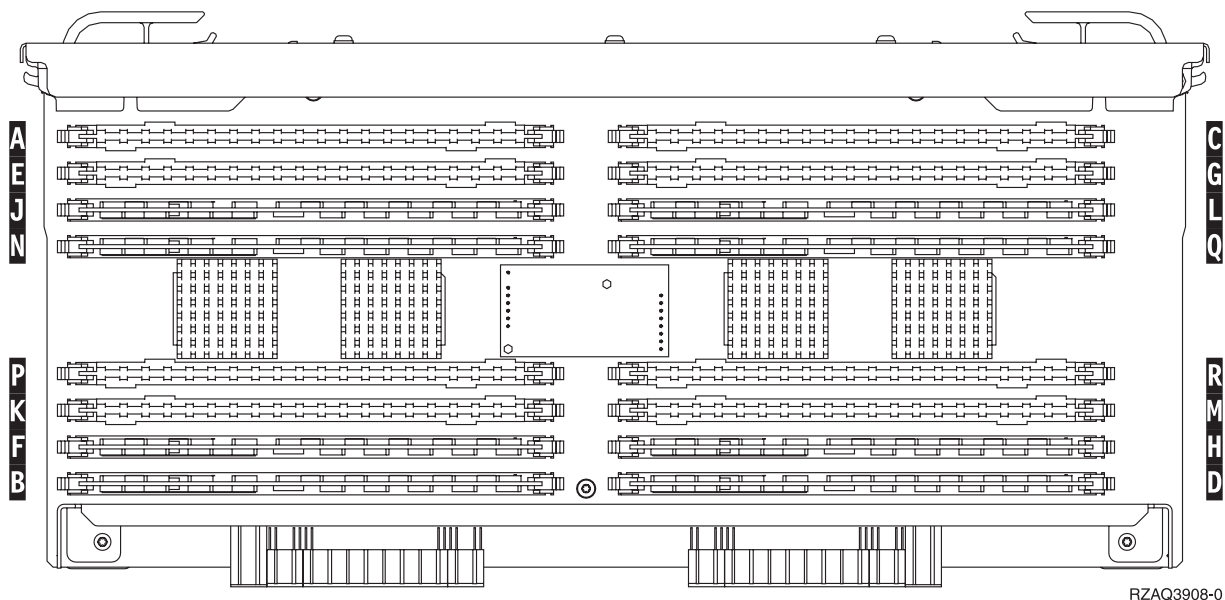
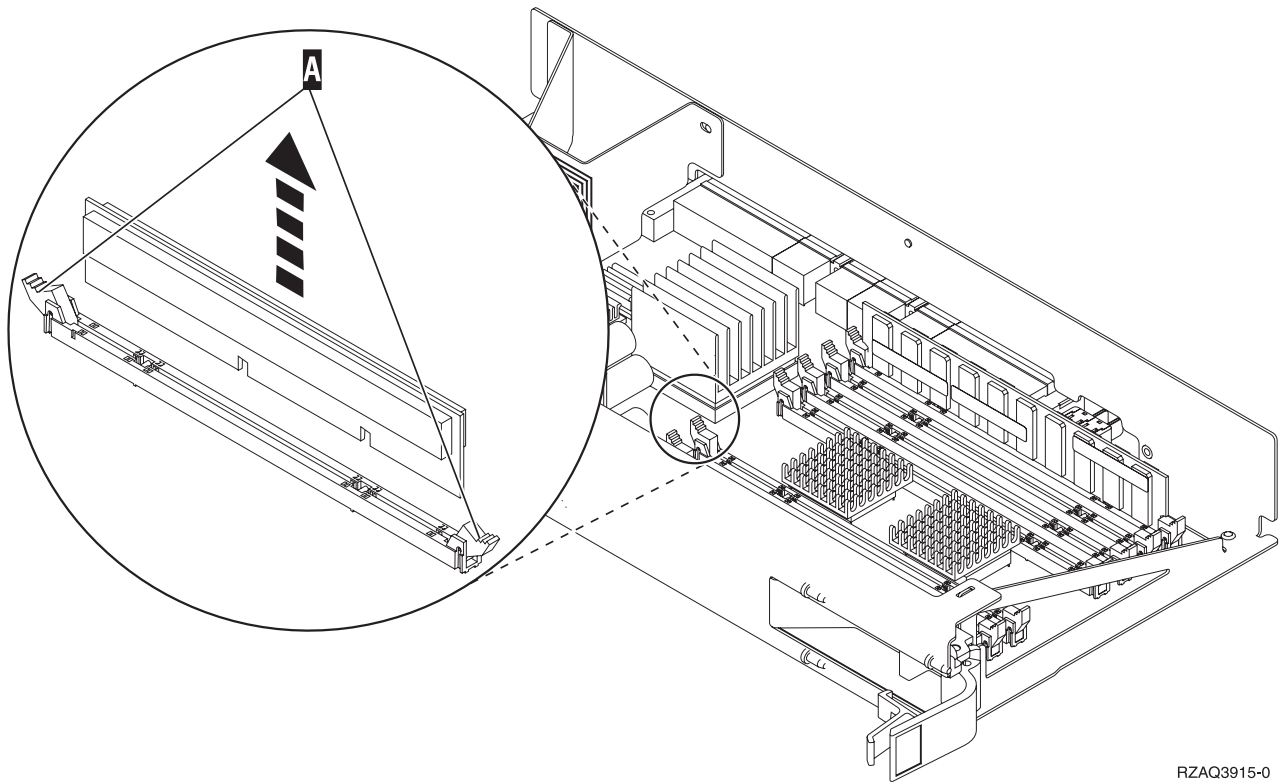


図 3. カード・アセンブリー上の記憶機構の位置

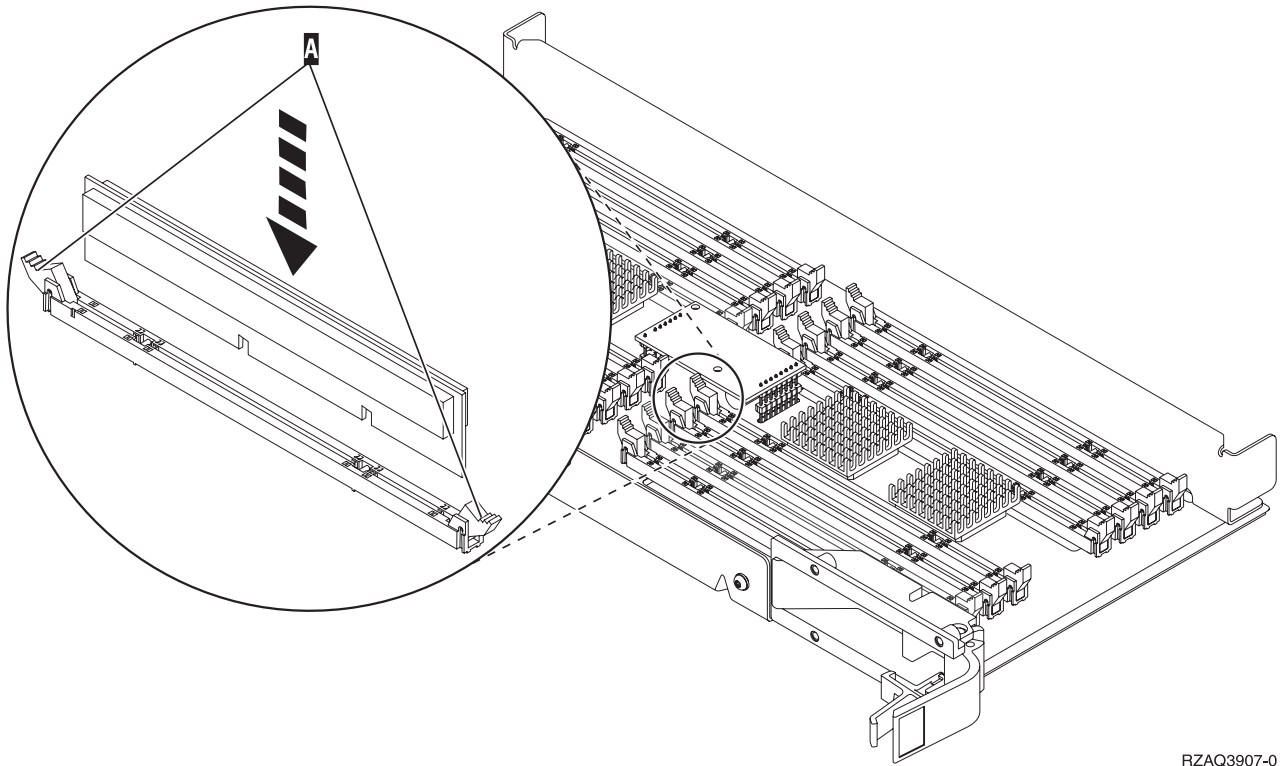
- \_\_ 10. 以下の手順を実行して、記憶機構カードの取り付け予定位置から、ブランク充てんカードを取り外します。
  - \_\_ a. 充てんカードの両端にあるラッチ **A** を外側に押します (7 ページの図 4)。
  - \_\_ b. カード・ソケットから充てんカードを取り外して廃棄します。



RZAQ3915-0

図4. プロセッサ・カード・アセンブリーから記憶機構を取り外す

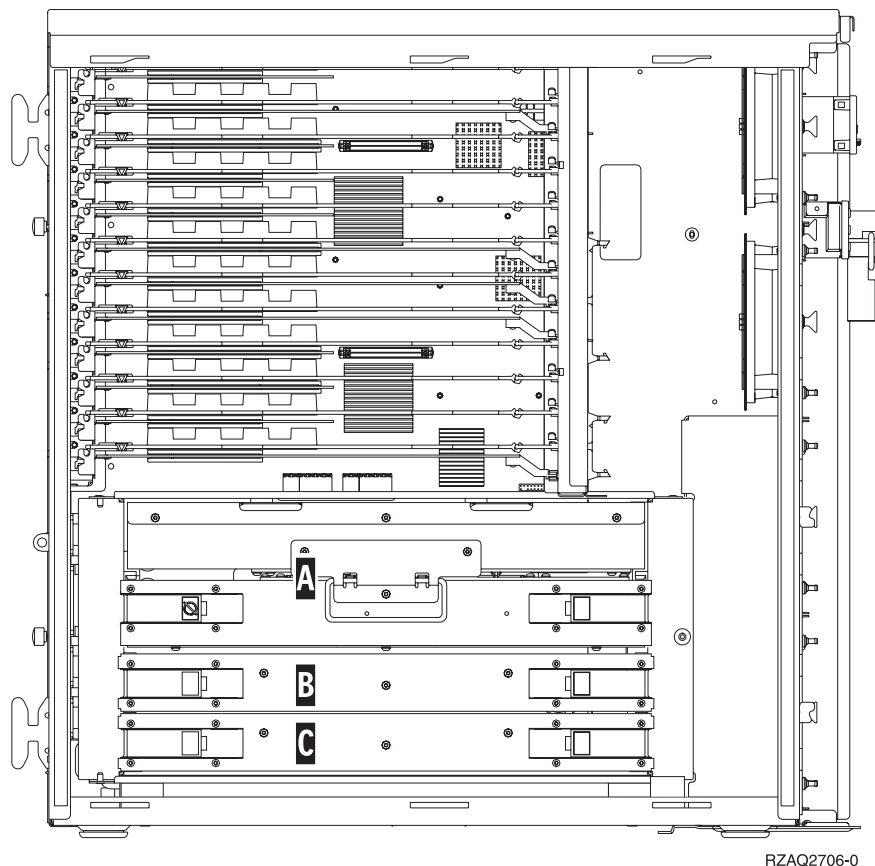
- \_\_ 11. 以下のようにして、プロセッサ・カード・アセンブリー **A** を取り外します。
  - \_\_ a. 2 つのラッチを、カード・アセンブリーが少し「飛び出る」まで外します。
  - \_\_ b. 両方のラッチを同時に引いて、カード・アセンブリーをシステム装置から取り外します。
  - \_\_ c. カード・アセンブリーを裏返して、静電気保護バッグの上に置きます。
- \_\_ 12. プロセッサ・カード・アセンブリーから記憶機構カードを取り外し (図4 **A**)、以下のようにして記憶機構カードを 2884 アセンブリーに取り付けます。
  - \_\_ a. 記憶機構カードの下部にあるノッチを注意して見てください。ノッチと記憶機構カードの端の間の距離が多少異なっています。
  - \_\_ b. 8 ページの図5 に示されているように、カードの位置を合わせます。
  - \_\_ c. キー・ノッチを一致させ、ラッチが閉じるまでカードを押し下げます。



RZAQ3907-0

図5. 記憶機構カードのインストール

- 13. 残りの記憶機構カードを取り外してインストールします。
- 14. すべての記憶機構カードのインストールを完了したら、カード・アセンブリーを裏返して、システム装置の中にスライドさせて入れます（5ページの図2の **B**）。カードの両端のラッチを同時に押します。カード・アセンブリーがそれ以上システム装置に押し込めなくなったら、ラッチを閉じます。
- 15. プロセッサ・カード・アセンブリーを元どおり取り付けます（5ページの図2の **A**）。
- 16. アクセス・カバーを元どおり取り付けます。
- 17. これでシステムへの記憶機構カードのインストールが完了しました。 **25** ページの『システム装置カバーの取り付け』に進みます。
- 18. モデル 820 で、9ページの図6の位置 **B** に、2884 カード・アセンブリーがすでに取り付けられていますか？

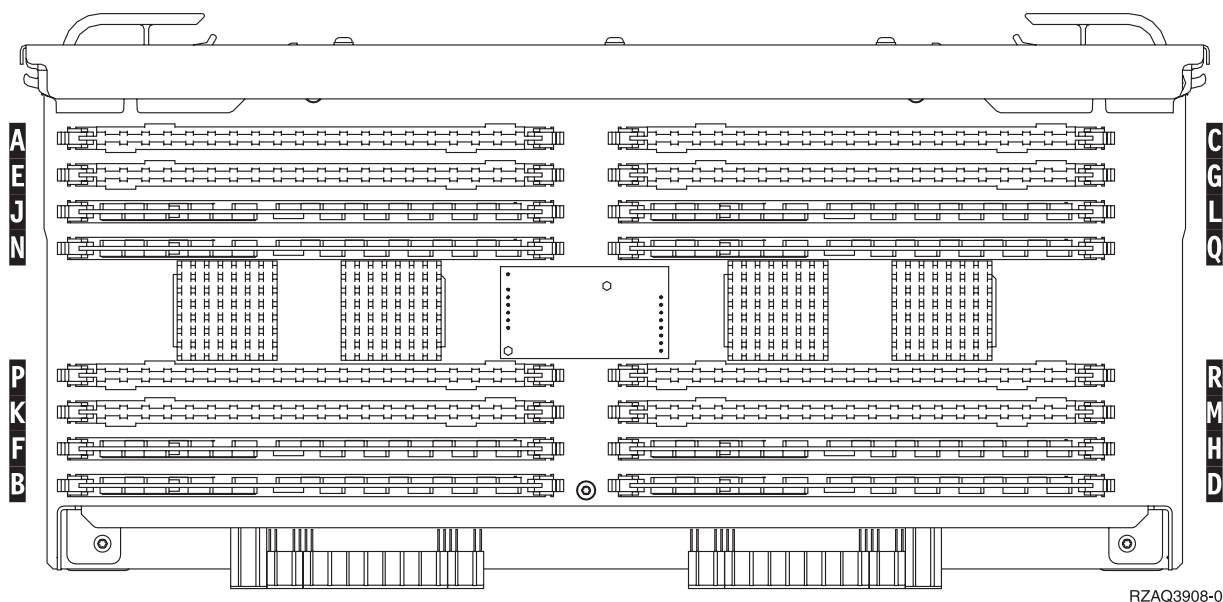


RZAQ2706-0

図 6. 820 システム装置内のカード・アセンブリーの位置

- はい: 次のステップに進みます。
- いいえ: ステップ 31 (11 ページ) に進みます。
- 19. 図 6 は、モデル 820 における、2884 カード・アセンブリー (B、C) およびプロセッサ・カード・アセンブリー (A) の位置を示しています。
- 20. 以下のようにして、空のカード・アセンブリー C を取り外します。
  - a. 2884 上の 2 つのラッチを、カード・アセンブリーが少し「飛び出る」まで外します。
  - b. 両方のラッチを同時に引いて、カード・アセンブリーをシステム装置から取り外します。
- 21. 新規の 2884 カード・アセンブリーを見つけます。
- 22. 次の説明を読んでから、ブランクの充てんカードを取り外し、記憶機構をカード・アセンブリーに取り付けてください。
  - 10 ページの図 7 は、主記憶機構カード・アセンブリー上の記憶機構カードの位置を示しています。
  - 記憶機構カードは、位置 E、F、G、および H に取り付ける前に、C と D に取り付けてください。
  - 記憶機構は 4 つのセットで取り付けます。たとえば、位置 E と G だけを先に取り付けて、後で位置 F と H に取り付けることはできません。4 つの記憶機構カードを一度に取り付ける必要があります。

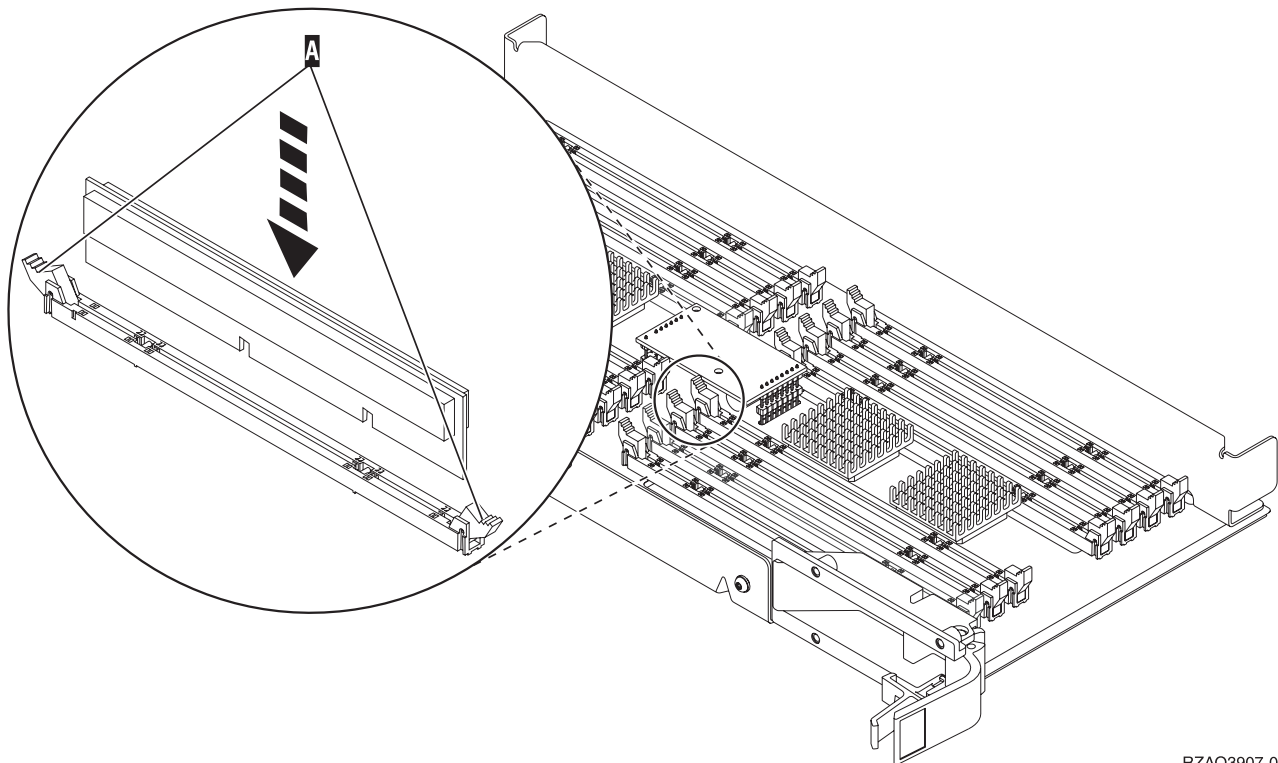
- 記憶機構カードのペアは、128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB のいずれかでなければなりません。E と G に取り付けるペアは、必ず F と H に取り付けるペアと同じにしてください。



RZAQ3908-0

図7. カード・アセンブリ上の記憶機構の位置

- \_\_ 23. 以下の手順を実行して、記憶機構カードの取り付け予定位置から、ブランク充てんカードを取り外します。
  - \_\_ a. 充てんカードの両端にあるラッチを外側に押します。
  - \_\_ b. カード・ソケットから充てんカードを取り外して廃棄します。
- \_\_ 24. 新しい記憶機構カードが入っているパッケージを用意します。
- \_\_ 25. **重要:** 記憶機構カードは壊れやすい機器なので、注意して取り扱ってください。  
静電気保護パッケージから、記憶機構カードを一度に **1 枚ずつ** 取り外します。
- \_\_ 26. 11 ページの図 8 を参照し、以下の手順を実行して記憶機構カードをインストールします。
  - \_\_ a. 記憶機構カードの下部にあるノッチを注意して見てください。ノッチと記憶機構カードの端の間の距離が多少異なっています。
  - \_\_ b. 11 ページの図 8 に示されているように、カードの位置を合わせます。
  - \_\_ c. キー・ノッチを一致させ、ラッチが閉じるまでカードを押し下げます。



RZAQ3907-0

図 8. 記憶機構カードのインストール

- \_\_ 27. 残りの記憶機構カードをインストールします。
- \_\_ 28. すべての記憶機構カードのインストールを完了したら、カード・アセンブリーを裏返して、システム装置の中にスライドさせて入れます ( **C** )。カードの両端のラッチを同時に押します。カード・アセンブリーがそれ以上システム装置に押し込めなくなったら、ラッチを閉じます。
- \_\_ 29. アクセス・カバーを元どおり取り付けます。
- \_\_ 30. これでシステムへの記憶機構カードのインストールが完了しました。 **25** ページの『システム装置カバーの取り付け』に進みます。
- \_\_ 31. 以下のようにして、プロセッサ・カード・アセンブリー **A** を取り外します。
  - \_\_ a. 2 つのラッチを、カード・アセンブリーが少し「飛び出る」まで外します。
  - \_\_ b. 両方のラッチを同時に引いて、カード・アセンブリーをシステム装置から取り外します。
  - \_\_ c. カード・アセンブリーを裏返して、静電気保護バッグの上に置きます。
- \_\_ 32. 以下のようにして、空のカード・アセンブリー **B** を取り外します。
  - \_\_ a. 2884 上の 2 つのラッチを、カード・アセンブリーが少し「飛び出る」まで外します。 12 ページの図 9 **B** を参照してください。
  - \_\_ b. 両方のラッチを同時に引いて、カード・アセンブリーをシステム装置から取り外します。

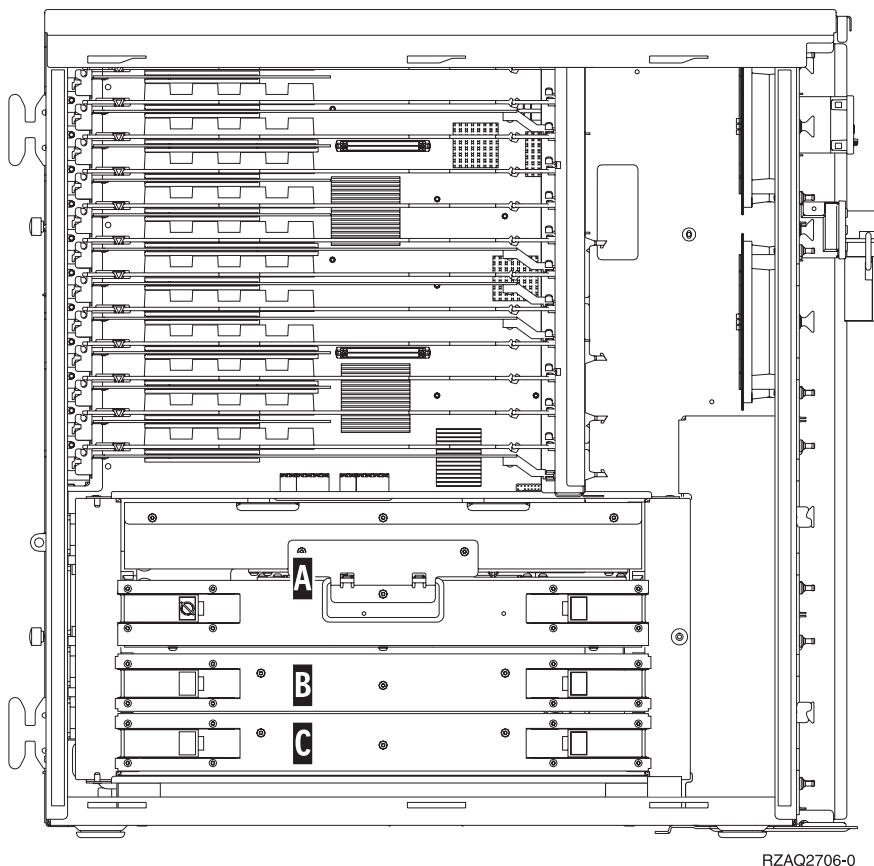


図9. 820 システム装置内のカード・アセンブリーの位置

- \_\_ 33. 新規の 2884 カード・アセンブリーを見つけます。
- \_\_ 34. 次の説明を読んでから、ブランクの充てんカードを取り外し、記憶機構をカード・アセンブリーに取り付けてください。
  - **13 ページの図 10** は、主記憶機構カード・アセンブリー上の記憶機構カードの位置を示しています。
  - 記憶機構カードは、位置 **E**、**F**、**G**、および **H** に取り付ける前に、**C** と **D** に取り付けてください。
  - 記憶機構は 4 つのセットで取り付けます。たとえば、位置 **E** と **G** だけを先に取り付けて、後で位置 **F** と **H** に取り付けることはできません。4 つの記憶機構カードを一度に取り付ける必要があります。
  - 記憶機構カードのペアは、128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB のいずれかでなければなりません。**E** と **G** に取り付けるペアは、必ず **F** と **H** に取り付けるペアと同じにしてください。



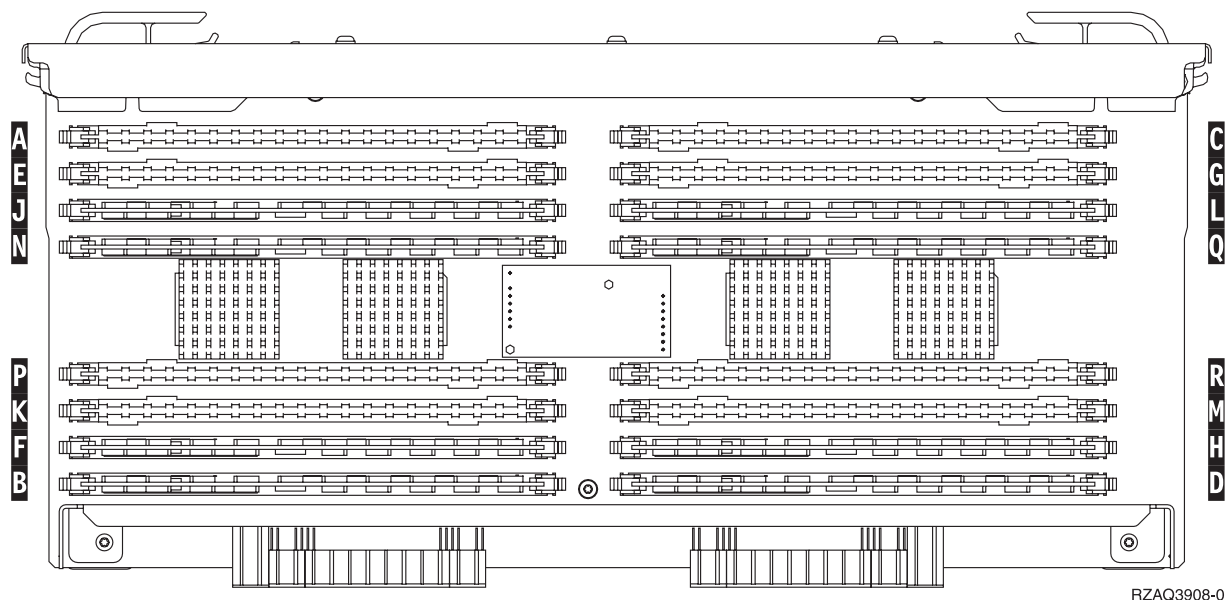
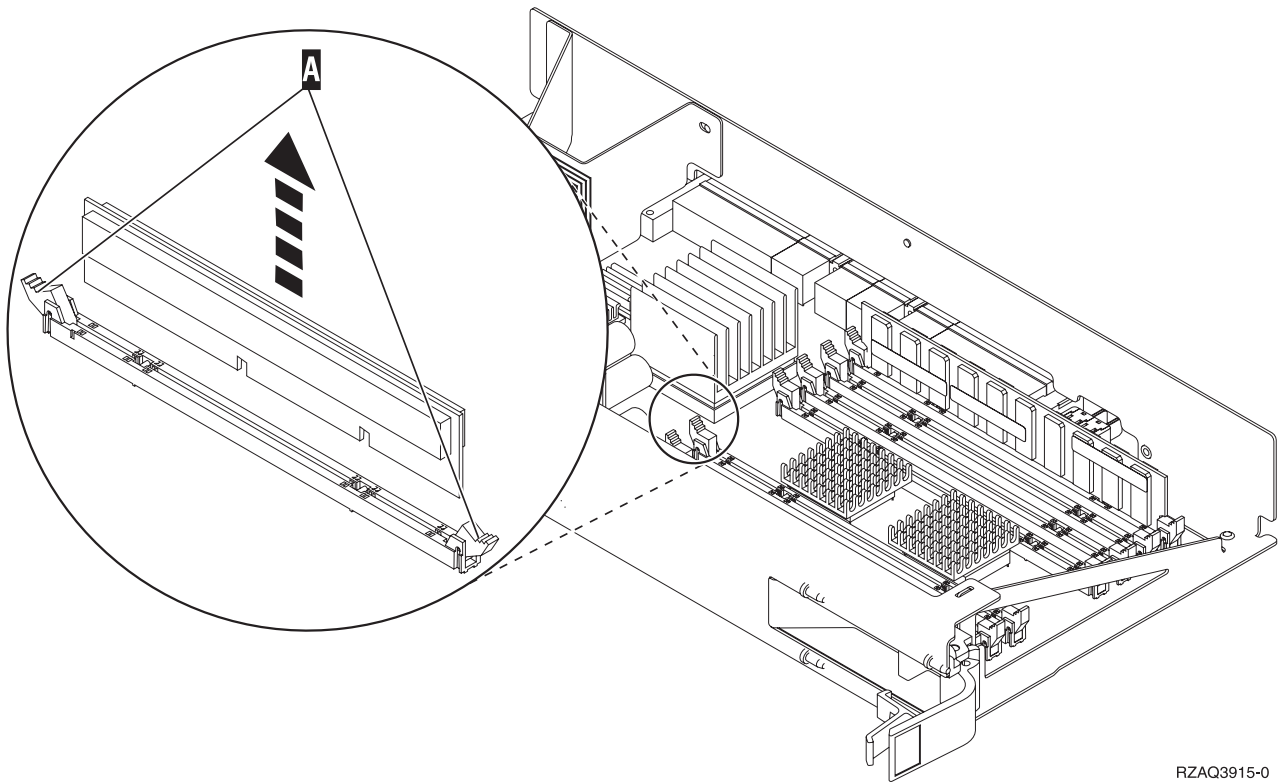


図 10. カード・アセンブリー上の記憶機構の位置

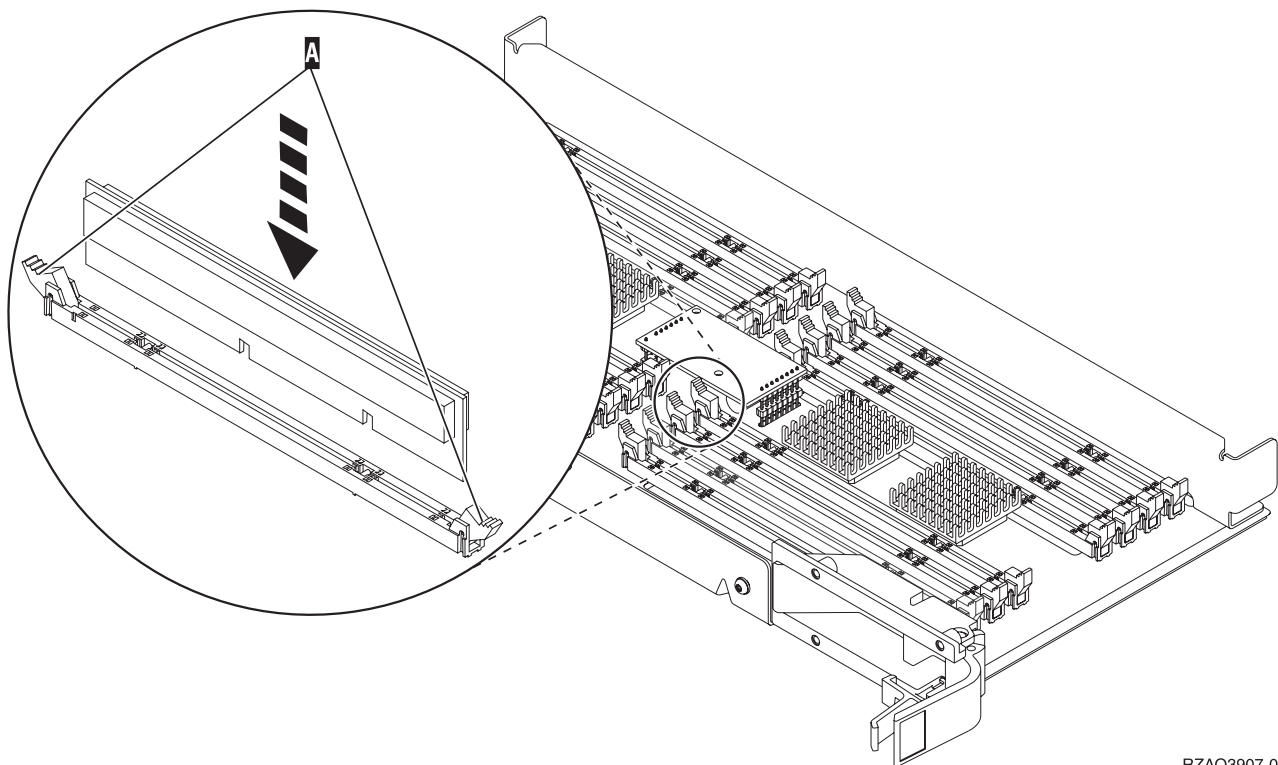
- \_\_ 35. 以下の手順を実行して、記憶機構カードの取り付け予定位置から、ブランク充てんカードを取り外します。
  - \_\_ a. 充てんカードの両端にあるラッチ **A** を外側に押します (17 ページの図 14)。
  - \_\_ b. カード・ソケットから充てんカードを取り外して廃棄します。
- \_\_ 36. プロセッサ・カード・アセンブリーから記憶機構カードを取り外し (14 ページの図 11 **A**)、以下のようにして記憶機構カードを 2884 カード・アセンブリーに取り付けます。



RZAQ3915-0

図 11. プロセッサ・カード・アセンブリーから記憶機構を取り外す

- a. 記憶機構カードの下部にあるノッチを注意して見てください。ノッチと記憶機構カードの端の間の距離が多少異なっています。
- b. 15 ページの図 12 に示されているように、カードの位置を合わせます。
- c. キー・ノッチを一致させ、ラッチが閉じるまでカードを押し下げます。



RZAQ3907-0

図 12. 記憶機構カードのインストール

- \_\_ 37. 残りの記憶機構カードを取り外してインストールします。
- \_\_ 38. すべての記憶機構カードのインストールを完了したら、カード・アセンブリーを裏返して、システム装置の中にスライドさせて入れます ( **B** )。両方のカードのラッチを同時に押してください。カード・アセンブリーがそれ以上システム装置に押し込めなくなったら、ラッチを閉じます。
- \_\_ 39. プロセッサ・カード・アセンブリーを元どおり取り付けます ( **A** )。
- \_\_ 40. アクセス・カバーを元どおり取り付けます。
- \_\_ 41. これでシステムへの記憶機構カードのインストールが完了しました。 **25** ページの『システム装置カバーの取り付け』に進みます。

## 2884 カード・アセンブリーへの記憶機構の追加

- \_\_ 1. 次の説明を読んでから、ブランクの充てんカードを取り外し、記憶機構をカード・アセンブリーに取り付けてください。
  - **16** ページの **図 13** は、主記憶機構カード・アセンブリー上の記憶機構カードの位置を示しています。
  - 記憶機構カードは、位置 **E**、**F**、**G**、および **H** に取り付ける前に、**C** と **D** に取り付けてください。
  - 記憶機構は 4 つのセットで取り付けます。たとえば、位置 **E** と **G** だけを先に取り付けて、後で位置 **F** と **H** に取り付けることはできません。4 つの記憶機構カードを一度に取り付ける必要があります。

- 記憶機構カードのペアは、128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB のいずれかでなければなりません。E と G に取り付けるペアは、必ず F と H に取り付けるペアと同じにしてください。
- ステップ 2 に進みます。

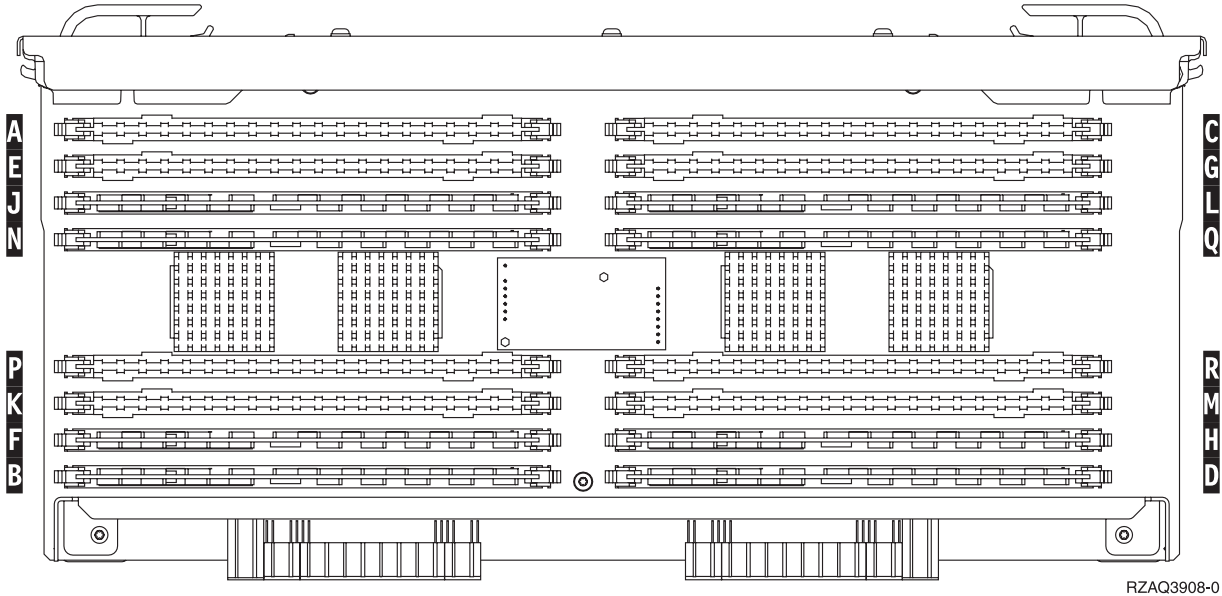
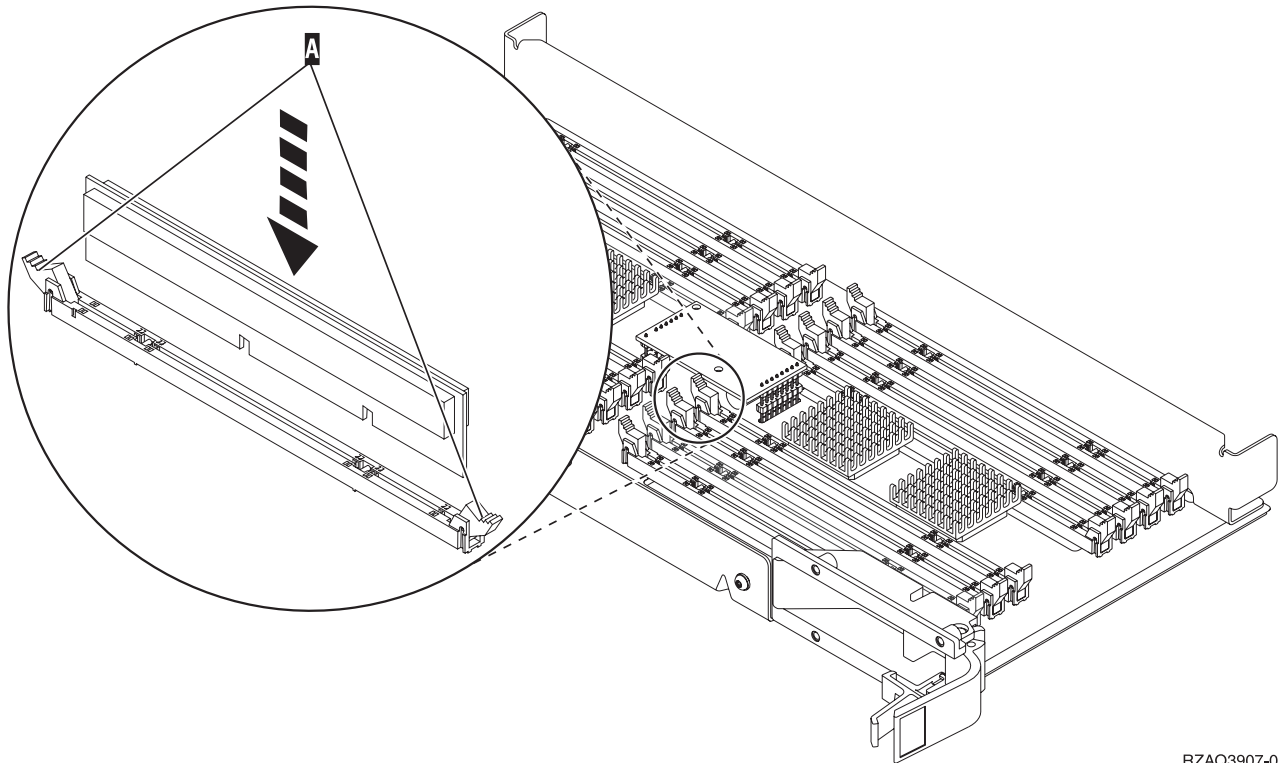


図 13. カード・アセンブリー上の記憶機構の位置

- \_\_ 2. 以下の手順を実行して、次の使用可能な位置からブランク充てんカードを取り外します。
  - \_\_ a. 充てんカードの両端にあるラッチ **A** を外側に押します (17 ページの図 14)。
  - \_\_ b. カード・ソケットから充てんカードを取り外して廃棄します。
- \_\_ 3. 新しい記憶機構カードが入っているパッケージを用意します。
- \_\_ 4. **重要:** 記憶機構カードは壊れやすい機器なので、注意して取り扱ってください。  
静電気保護パッケージから、記憶機構カードを一度に **1 枚**ずつ取り外します。
- \_\_ 5. 17 ページの図 14 を参照し、以下の手順を実行して記憶機構カードをインストールします。
  - \_\_ a. 記憶機構カードの下部にあるノッチを注意して見てください。ノッチと記憶機構カードの端の間の距離が多少異なっています。
  - \_\_ b. 17 ページの図 14 に示されているように、カードの位置を合わせます。
  - \_\_ c. キー・ノッチを一致させ、ラッチが閉じるまでカードを押し下げます。



RZAQ3907-0

図 14. 記憶機構カードのインストール

- 6. 残りの記憶機構カードをインストールします。
- 7. すべての記憶機構カードのインストールを完了したら、カード・アセンブリーを裏返して、システム装置の中にスライドさせて入れます。カードの両端のラッチを同時に押します。カード・アセンブリーがそれ以上システム装置に押し込めなくなったら、ラッチを閉じます。
- 8. アクセス・カバーを元どおり取り付けます。
- 9. これでシステムへの記憶機構カードのインストールが完了しました。 **25** ページの『システム装置カバーの取り付け』に進みます。

## プロセッサ・カード・アセンブリーへの記憶機構の追加

- 1. 次の説明を読んでから、ブランクの充てんカードを取り外し、記憶機構をカード・アセンブリーに取り付けてください。
  - **18** ページの図 **15** は、主記憶機構カード・アセンブリー上の記憶機構カードの位置を示しています。
  - 記憶機構カードは、位置 **E**、**F**、**G**、および **H** に取り付ける前に、**C** と **D** に取り付けてください。
  - 記憶機構は 4 つのセットで取り付けます。たとえば、位置 **E** と **G** だけを先に取り付けて、後で位置 **F** と **H** に取り付けることはできません。4 つの記憶機構カードを一度に取り付ける必要があります。
  - 記憶機構カードのペアは、128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB のいずれかでなければなりません。 **E** と **G** に取り付けるペアは、必ず **F** と **H** に取り付けるペアと同じにしてください。

- ステップ 2 に進みます。

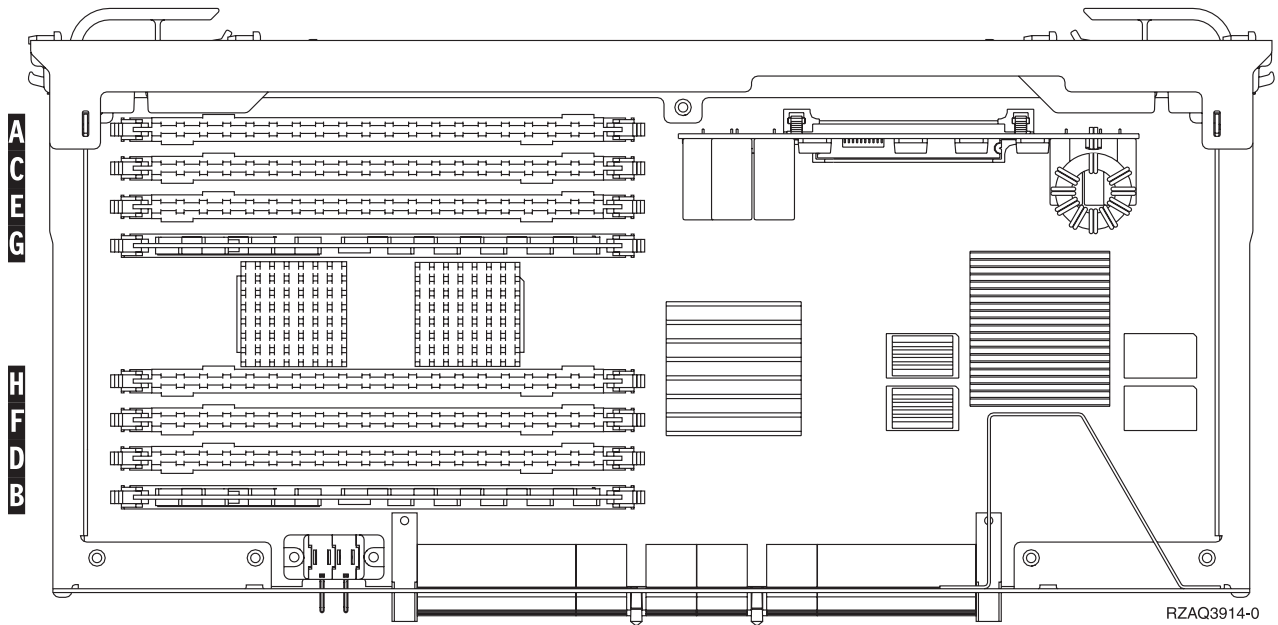
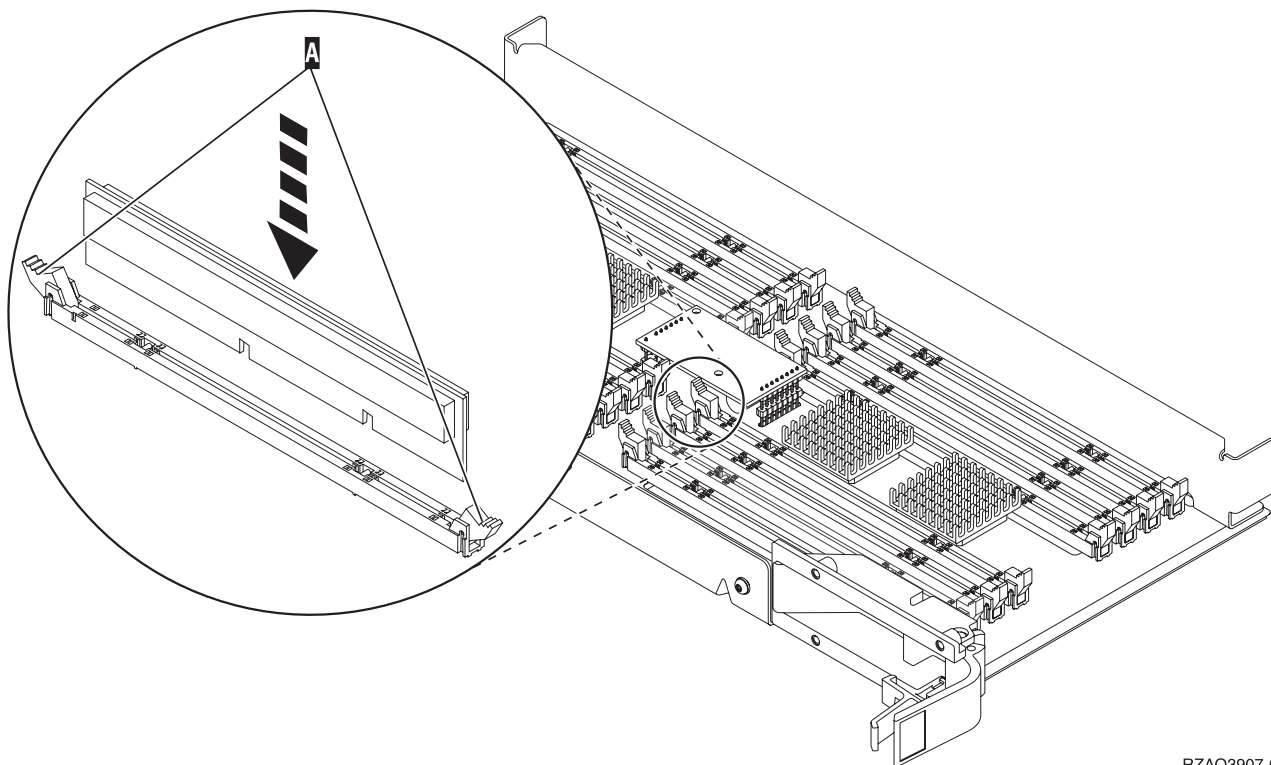


図 15. カード・アセンブリー上の記憶機構の位置

- \_\_ 2. 以下の手順を実行して、次の使用可能な位置からブランク充電カードを取り外します。
  - \_\_ a. 充電カードの両端にあるラッチ **A** を外側に押します (19 ページの図 16)。
  - \_\_ b. カード・ソケットから充電カードを取り外して廃棄します。
- \_\_ 3. 新しい記憶機構カードが入っているパッケージを用意します。
- \_\_ 4. **重要:** 記憶機構カードは壊れやすい機器なので、注意して取り扱ってください。  
静電気保護パッケージから、記憶機構カードを一度に **1 枚**ずつ取り外します。
- \_\_ 5. 19 ページの図 16 を参照し、以下の手順を実行して記憶機構カードをインストールします。
  - \_\_ a. 記憶機構カードの下部にあるノッチを注意して見てください。ノッチと記憶機構カードの端の間の距離が多少異なっています。
  - \_\_ b. 19 ページの図 16 に示されているように、カードの位置を合わせます。
  - \_\_ c. キー・ノッチを一致させ、ラッチが閉じるまでカードを押し下げます。



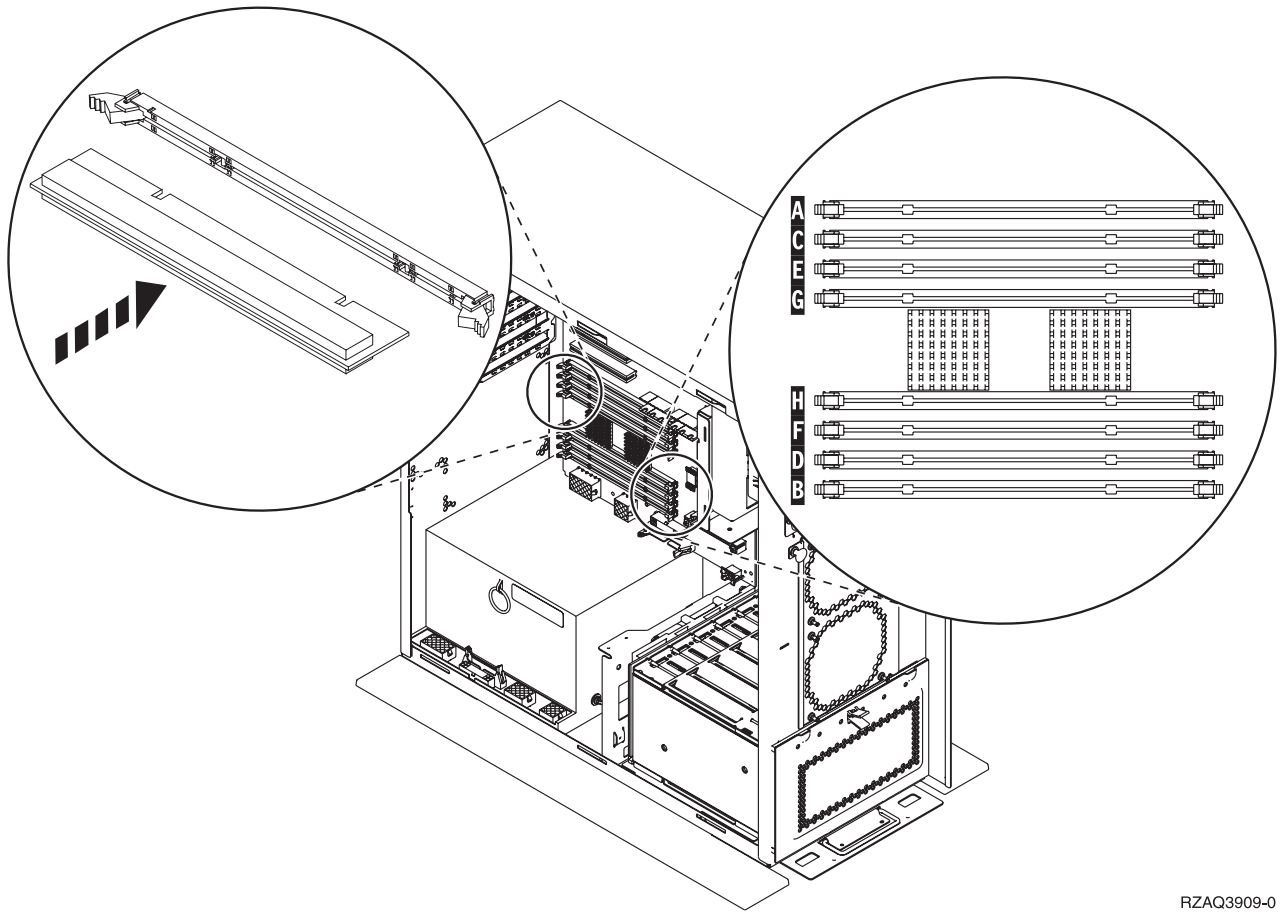
RZAQ3907-0

図 16. 記憶機構カードのインストール

- 6. 残りの記憶機構カードをインストールします。
- 7. すべての記憶機構カードのインストールを完了したら、カード・アセンブリーを裏返して、システム装置の中にスライドさせて入れます。カードの両端のラッチを同時に押します。カード・アセンブリーがそれ以上システム装置に押し込めなくなったら、ラッチを閉じます。
- 8. アクセス・カバーを元どおり取り付けます。
- 9. これでシステムへの記憶機構カードのインストールが完了しました。 **25** ページの『システム装置カバーの取り付け』に進みます。

## バックプレーン上のプロセッサの位置に記憶機構を追加する

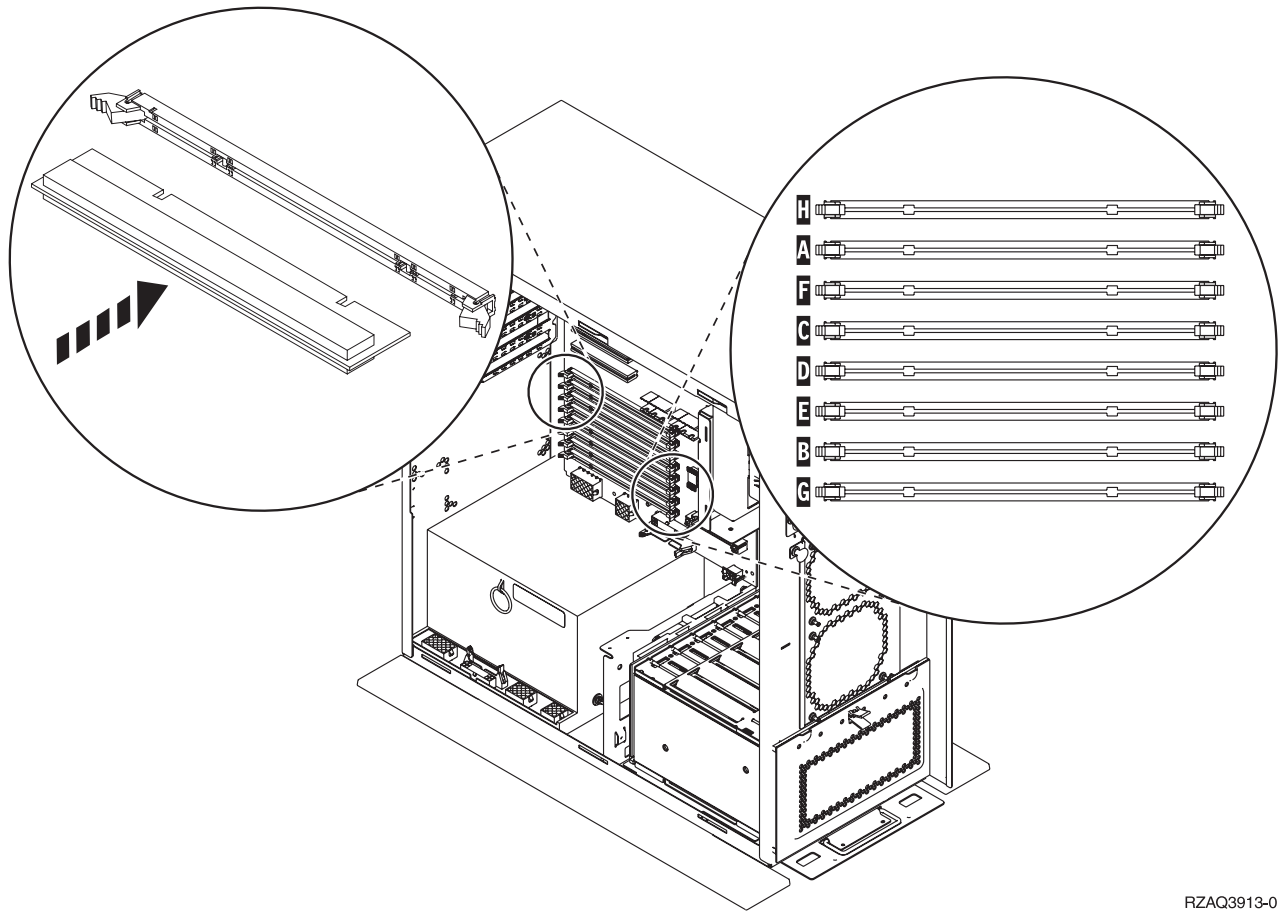
- 1. **20** ページの図 17 および **21** ページの図 18 は、システム装置内部のプロセッサ **A** にある記憶機構カード・コネクタを示しています。



RZAQ3909-0

図 17. 記憶機構コネクタ図 1





RZAQ3913-0

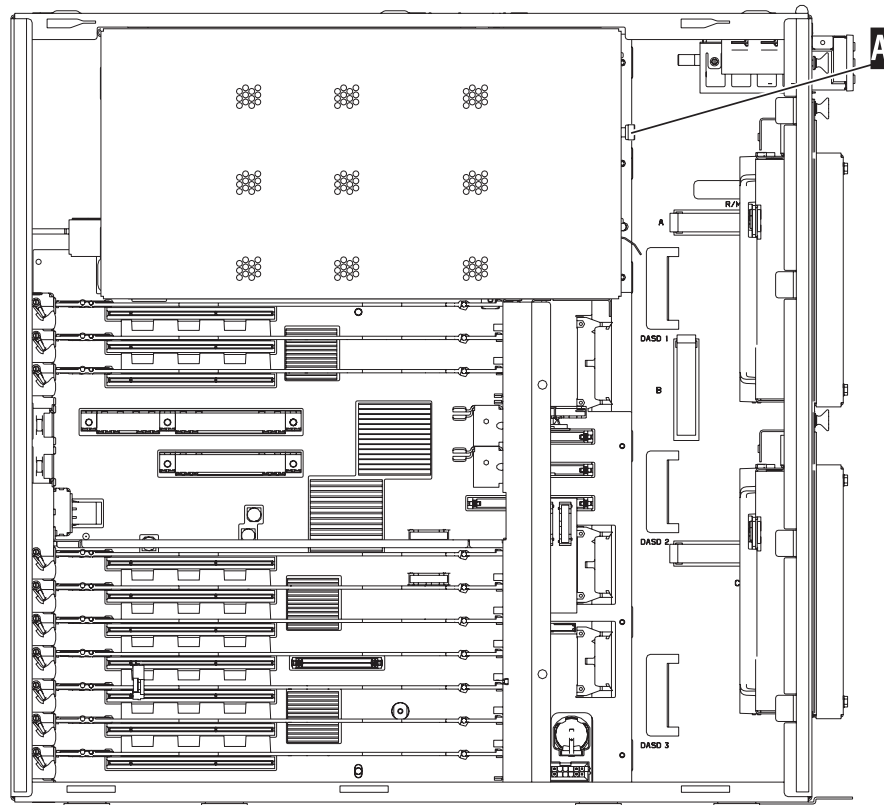
図 18. 記憶機構コネクタ図 2

- 2. ご使用のシステム装置と一致する図を参照して、正しい順序で記憶機構を配置します。
- 3. 記憶機構カードは、プロセッサに次のように配置します。
  - 最初は **C** と **D**、次は **E** と **F** といった順序で、2 枚 1 組でインストールします。
  - 記憶機構カードの各ペアは、128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB のいずれかでなければなりません。
- 4. 以下の手順を実行して、次の使用可能な位置からブランク充てんカードを取り外します。
  - a. 充てんカードの両端にあるラッチを外側に押します (20 ページの図 17)。
  - b. カード・ソケットから充てんカードを取り外して廃棄します。
- 5. 新しい記憶機構カードが入っているパッケージを用意します。
- 6. **重要:** 記憶機構カードは壊れやすい機器なので、注意して取り扱ってください。  
静電気保護パッケージから、記憶機構カードを一度に **1 枚**ずつ取り外します。
- 7. 以下の手順で、**C** と **D** から始めて、次に使用可能な位置に記憶機構カードをインストールします。

- \_\_ a. 記憶機構カードの下部にあるノッチを注意して見てください。ノッチとカードの端の間の距離が多少異なっています。
- \_\_ b. 20 ページの図 17 または 21 ページの図 18 に示されているように、カードの位置を合わせます。ラッチが閉じるまでカードを前方に押し込みます。
- \_\_ 8. 2 番目の記憶機構カードをインストールします。
- \_\_ 9. インストールする記憶機構カードがまだ他にありますか？
  - \_\_ はい: ステップ 2 (21 ページ) ~ 8 を繰り返します。
  - \_\_ いいえ: 次のステップに進みます。
- \_\_ 10. インストールするアダプター・カードまたは機構がまだ他にありますか？
  - \_\_ いいえ: 25 ページの『システム装置カバーの取り付け』に進みます。
  - \_\_ はい: インストールする装置 (たとえば、アダプター・カード、磁気テープ装置、またはディスク装置) がまだ他にもある場合には、そのフィーチャーに付属している指示書を参照してください。

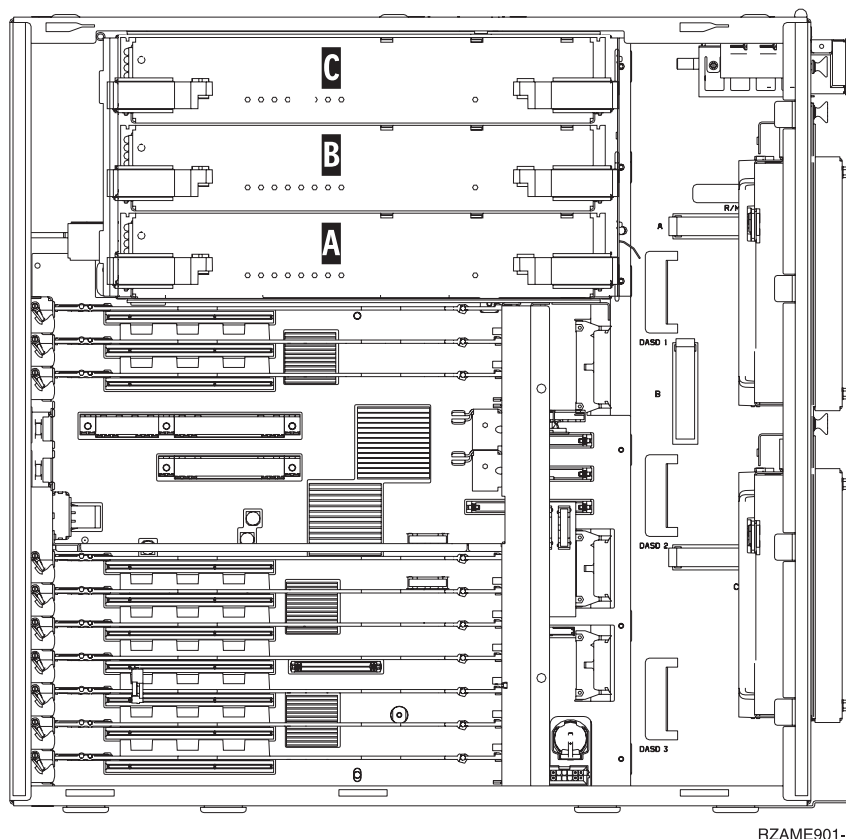
## iSeries プロセッサ・カード・アセンブリへの記憶機構の追加

- \_\_ 1. アクセス・カバーを取り外します。  ビデオをご覧ください。



RZAME902-0

2. 以下のようにして、プロセッサ・カード・アセンブリー **A** を取り外します。  
ビデオをご覧ください。



- a. 2 つのラッチを、カード・アセンブリーが少し「飛び出る」まで外します。
- b. 両方のラッチを同時に引いて、カード・アセンブリーをシステム装置から取り外します。
- c. カード・アセンブリーを、静電気保護バッグの上に置きます。

注: **A** が満杯の場合、プロセッサ・カード・アセンブリー **B** を取り外します。 **B** が満杯の場合、プロセッサ・カード・アセンブリー **C** を取り外します。

3. 次の説明を読んでから、ブランクの充てんカードを取り外し、記憶機構をカード・アセンブリーに取り付けてください。

- 24 ページの図 19 は、主記憶機構カード・アセンブリー上の記憶機構カードの位置を示しています。
- 記憶機構カードは、位置 **E**、**F**、**G**、および **H** に取り付ける前に、**C** と **D** に取り付けてください。
- 記憶機構は 4 つのセットで取り付けます。たとえば、位置 **E** と **G** だけを先に取り付けて、後で位置 **F** と **H** に取り付けることはできません。4 つの記憶機構カードを一度に取り付ける必要があります。
- 記憶機構カードのペアは、256 MB、512 MB、1 GB、または 2 GB のいずれかでなければなりません。**E** と **G** に取り付けるペアは、必ず **F** と **H** に取り付けるペアと同じにしてください。

- ステップ 4 に進みます。

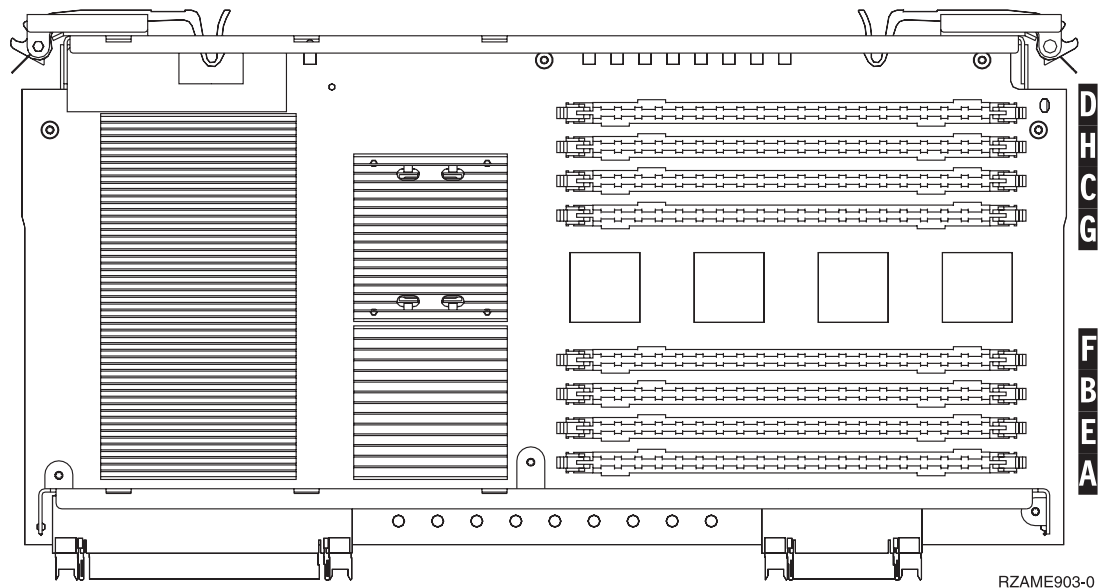

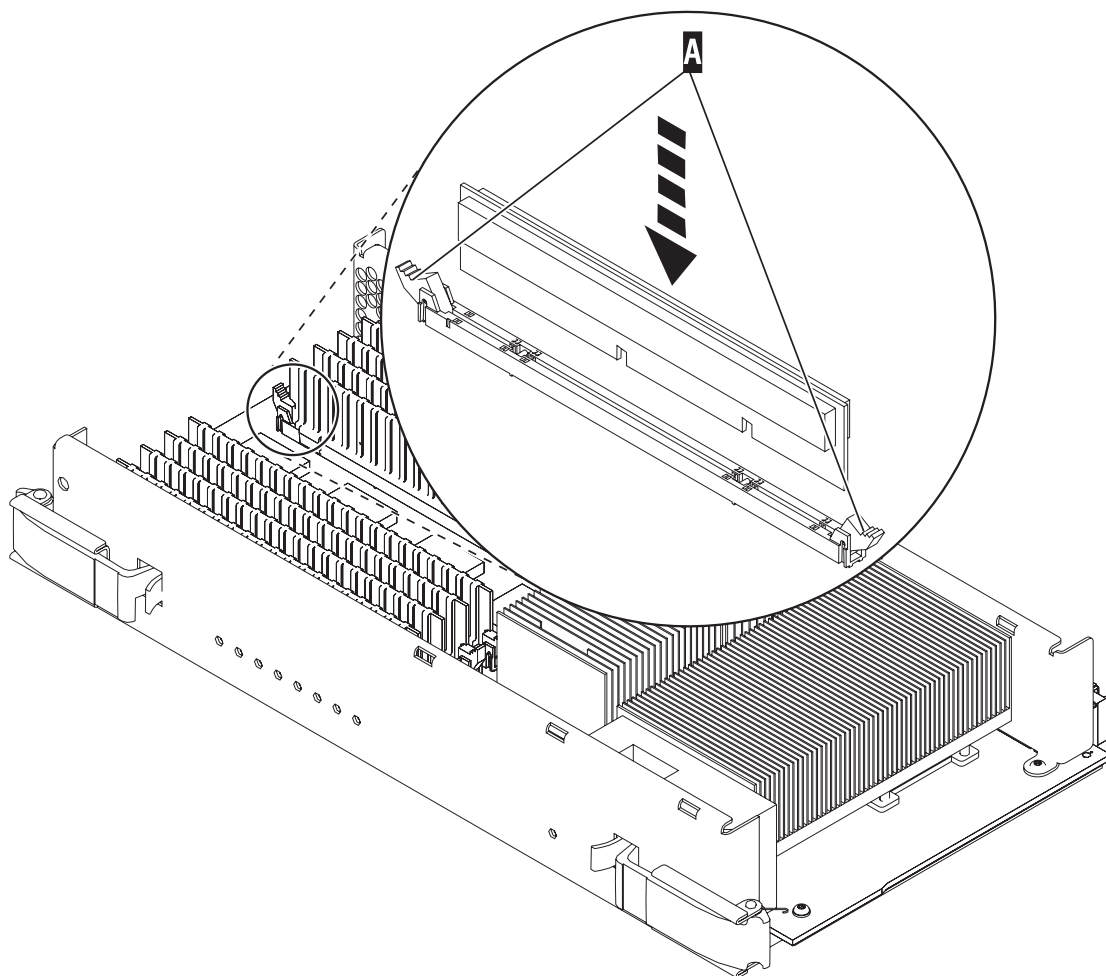



図 19. カード・アセンブリー上の記憶機構の位置

- \_\_ 4. 以下の手順を実行して、次の使用可能な位置からblank充てんカードを取り外します。
  - \_\_ a. 充てんカードの両端にあるラッチ **A** を外側に押します (25 ページの図 20)。
  - \_\_ b. カード・ソケットから充てんカードを取り外して廃棄します。
- \_\_ 5. 新しい記憶機構カードが入っているパッケージを用意します。
- \_\_ 6. **重要:** 記憶機構カードは壊れやすい機器なので、注意して取り扱ってください。  
静電気保護パッケージから、記憶機構カードを一度に **1 枚**ずつ取り外します。
- \_\_ 7. 25 ページの図 20 を参照し、以下の手順を実行して記憶機構カードを取り付けます。  ビデオをご覧ください。
  - \_\_ a. 記憶機構カードの下部にあるノッチを注意して見てください。ノッチと記憶機構カードの端の間の距離が多少異なっています。
  - \_\_ b. 25 ページの図 20 に示されているように、カードの位置を合わせます。
  - \_\_ c. キー・ノッチを一致させ、ラッチが閉じるまでカードを押し下げます。



RZAME904-0

図 20. 記憶機構カードのインストール

- 8. 残りの記憶機構カードをインストールします。
- 9. すべての記憶機構カードのインストールを完了したら、カード・アセンブリーをシステム装置の中にスライドさせて入れます。カードの両端のラッチを同時に押します。カード・アセンブリーがそれ以上システム装置に押し込めなくなったら、ラッチを閉じます。  ビデオをご覧ください。
- 10. アクセス・カバーを元どおり取り付けます。
- 11. これでシステムへの記憶機構カードのインストールが完了しました。『システム装置カバーの取り付け』に進みます。

## システム装置カバーの取り付け

- 1. リスト・バンドを取り外します。
- 2. **26 ページの図 21** は、上端および下端のタブをそろえてシステム装置の側面カバーを取り付ける方法を示しています。前方に押してすべてのタブがスロットに入るようにします。カバーが止まるまでシステム装置の前面側にスライドさせ、ねじを取り付けます。

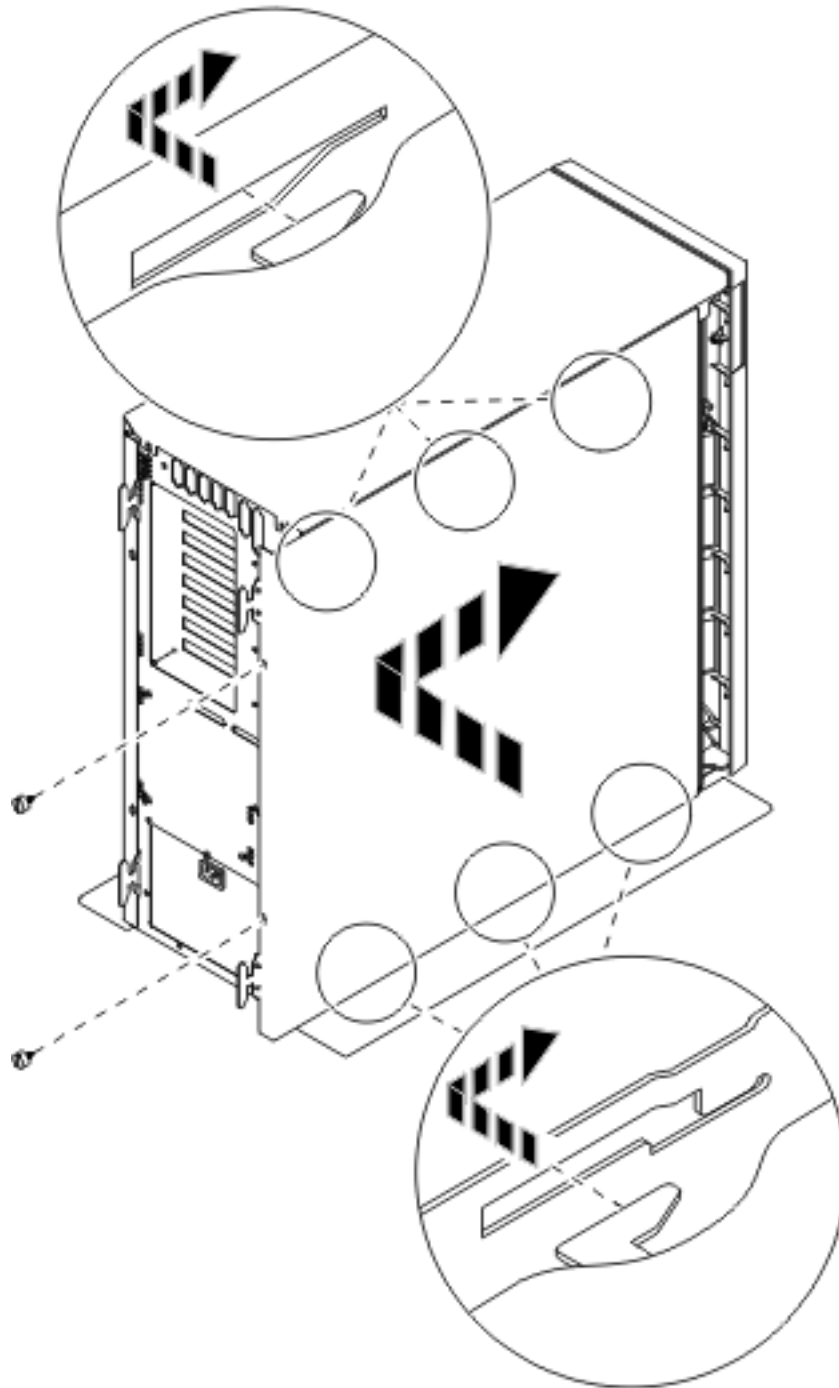


図 21. システム装置の側面カバーの取り付け

— 3. システム装置の背面カバーがある場合は、それを取り付けます。

\_\_ 4.

## 危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

以下の電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

- システム装置
- システム装置コンソール

注: この時点でシステム装置の電源をオンにしないでください。

- \_\_ 5. すべての接続装置 (印刷装置や表示装置など) のプラグを差し込み、電源をオンにします。

---

## インストールの完了

- \_\_ 1. ご使用のシステム装置を選択してください。
- \_\_ 270 または 810: 次のステップに進みます。
  - \_\_ 820 または 825: ステップ 4 (28 ページ) に進みます。
- \_\_ 2. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。 35 ページの『システム装置の制御パネル』を参照してください。
- \_\_ 3. 「機能/データ」画面に **01 B N V=S** と表示されていますか?
- \_\_ はい: ステップ 6 (28 ページ) に進みます。
  - \_\_ いいえ: 以下の作業を行います。
    - \_\_ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ e. 「機能/データ」画面に **N** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」画面に **01 B N S** と表示されるはずですが。表示されない場合は、ステップ 3a ~ 3i を繰り返します。

- \_\_ k. ステップ 6 に進みます。
- \_\_ 4. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- \_\_ 5. 「機能/データ」画面に **01 B V=S** と表示されていて、通常モード標識 (OK) が点灯していますか?
  - \_\_ はい: 次のステップに進みます。
  - \_\_ いいえ: 以下の作業を行います。
    - \_\_ a. 手動モード・インディケータ (小さい手のマーク) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
    - \_\_ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
    - \_\_ h. 正常標識 (OK) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
    - \_\_ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
    - \_\_ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。  
「機能/データ」画面に **01 B S** と表示されるはずですが、このように表示されない場合は、ステップ 5a ~ 5i を繰り返します。
    - \_\_ k. ステップ 6 に進みます。
- \_\_ 6. コンソールであるワークステーションまたは PC の電源をオンにします。
- \_\_ 7. システム装置の「電源」押しボタンを押します。「電源オン」ライトが点灯します。
 

注: 電源が入るまでに約 10 秒かかります。システムに電源を入れてから IPL が完了するまでは、約 5 ~ 20 分かかります。
- \_\_ 8. システム装置にサインオンします。保守権限をもっているか確認してください。
- \_\_ 9. 記憶機構 (主記憶機構) カード構成を検証するには、次のようにします。
  - \_\_ a. コマンド行に **strsst** と入力して、実行キーを押します。
  - \_\_ b. 「システム保守ツール (SST) のサインオン」画面で、**保守ツール・ユーザー ID** と**保守ツール・パスワード**を入力して、実行キーを押します。
  - \_\_ c. 「システム保守ツール (SST)」画面で「**保守ツールの開始**」を選択して、実行キーを押します。
  - \_\_ d. 「**保守ツールの開始**」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択して実行キーを押します。



- \_\_ e. 「ハードウェア保守管理機能」画面から「論理ハードウェア資源 (バス、IOP、制御装置...)」を選択して、実行キーを押します。
  - \_\_ f. 「論理ハードウェア資源」表示画面で「主記憶域資源」を選択し、実行キーを押します。

すべての位置について、状況が**操作可能**であることを確認します。

**注:** 状況が「操作可能」にならない場合は、記憶機構カードをチェックしてください。
  - \_\_ g. 印刷装置がある場合は、構成リストを印刷します。

**注:** ハードウェア資源リストを印刷するには、**F12** を 1 回押します。「論理ハードウェア資源」メニューが表示されたら、**F6** を押します。
  - \_\_ h. 「メイン・メニュー」に戻るために、**F3** を 3 回押して実行キーを押します。
- \_\_ 10. ステップ 1 (2 ページ) で「システム・パフォーマンス調整」オプションの値を変更した場合は、以下の手順を実行して、アップグレードする前の値に戻します。
- \_\_ a. iSeries コマンド行で、**WRKSYSVAL (QPFRADJ)** と入力します。
  - \_\_ b. 「**変更**」を選択し、実行キーを押します。
  - \_\_ c. パフォーマンス調整値を、アップグレード前の値に戻します。
- \_\_ 11. これでフィーチャーのインストールは完了です。



---



## 装置カバー

作業対象の装置の指示を参照してください。

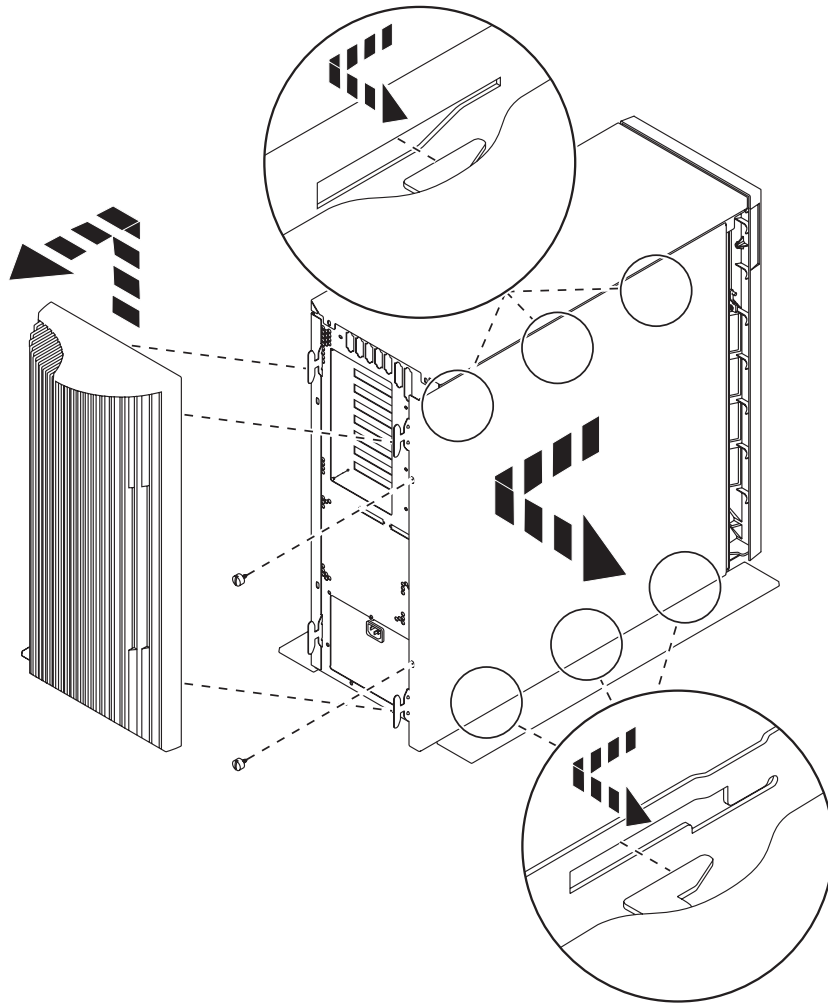
- 『270、810、および 820 システム装置』
- 33 ページの『825 装置』
- 33 ページの『ラック内の 270 または 810 装置』

---

### 270、810、および 820 システム装置

記憶機構カード位置に届くようにするには、背面カバー (  ビデオをご覧ください。 ) と、もしあれば側面カバー (  ビデオをご覧ください。 ) を取り外す必要があります。

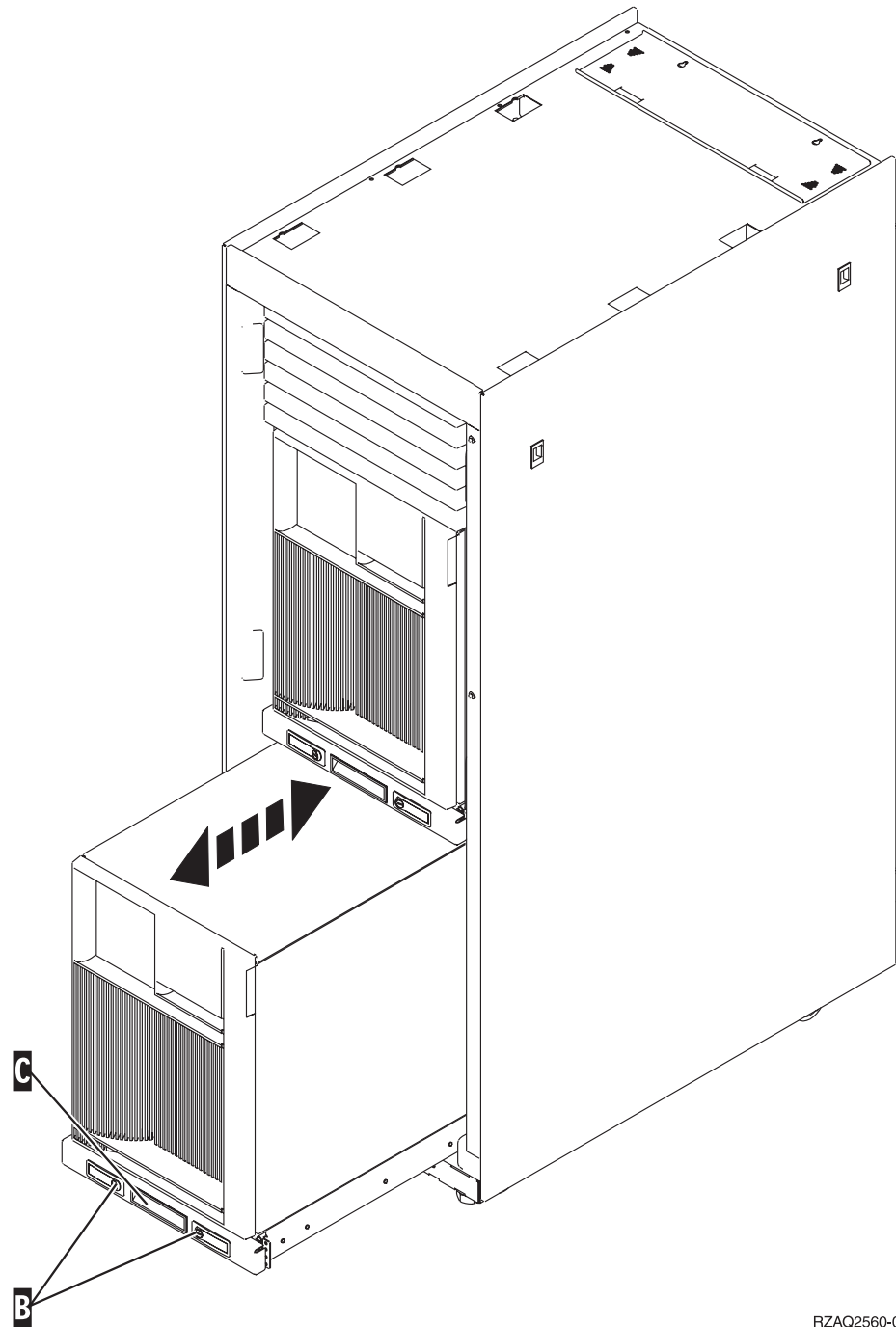
- \_\_ 1. 背面カバーの下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
- \_\_ 2. **重要:** 電源をオンにしたまま側面カバーを取り外すと、電磁障害のためにエラーが起こる場合があります。  
つまみねじを緩め、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバー (背面から見て) を取り外します。
- \_\_ 3. カバーを引き出します。



RZAQ2517-0

## ラック内の 270 または 810 装置

1. ラッチ **B** を押し、ハンドル **C** を使ってサーバーを引き出します。



RZAQ2560-0

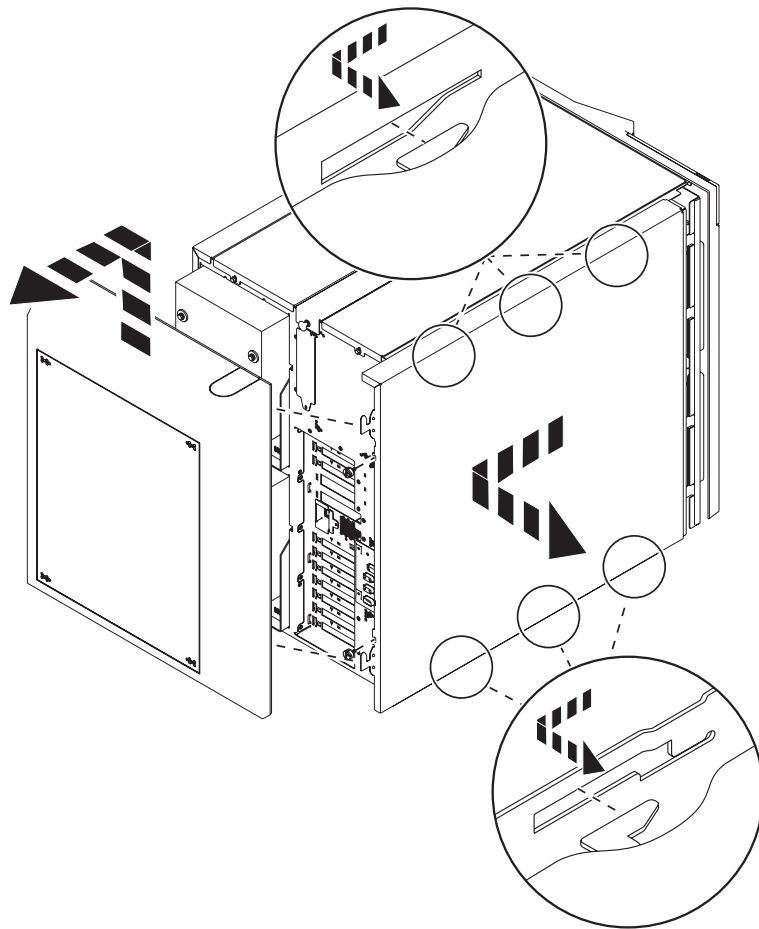
2. 側面カバーの取り外しについては、前の装置の図を参照してください。

## 825 装置

PCI カード位置を見つけるには、背面カバーと側面カバーを取り外す必要があります。

- 1. 背面カバーの下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。

- \_\_ 2. つまみねじを緩め、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバー（背面から見て）を取り外します。
- \_\_ 3. カバーを引き出します。



RZAME601-0

## システム装置の制御パネル

iSeries システム装置の前面にある、制御パネルの扉を開きます。

制御パネルの外観は、図 22、または 36 ページの図 23 のようになっています。ご使用の装置の制御パネルを確認してください。

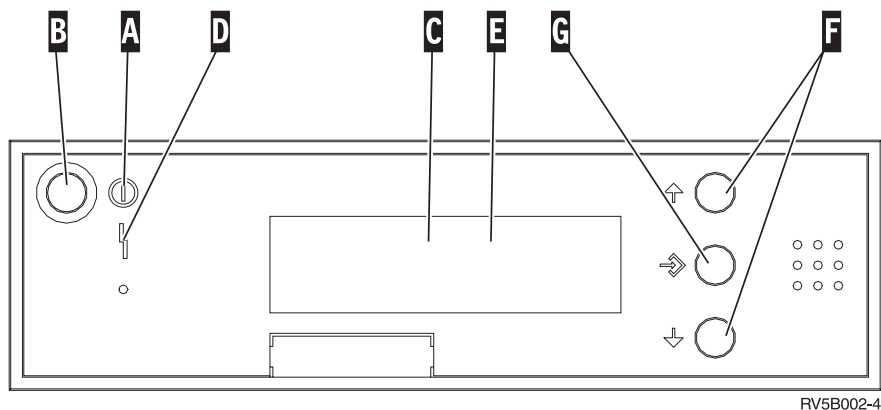
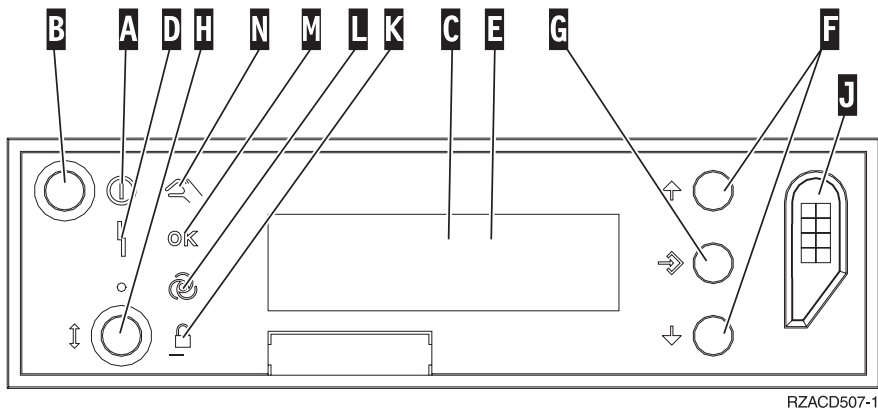


図 22. 電子キースティックのない制御パネル

以下は、図 22 にある各部の説明です。

- A** 「電源オン」ライト
  - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
  - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」ライト
- E** 「機能/データ」表示パネル
- F** 「増/減」ボタン
- G** 「機能開始」押しボタン

制御パネルが 36 ページの図 23 のようになっている場合、**F** の「増/減」ボタンと **G** の「実行」押しボタンを使用するには、先に **H** の「モード選択」ボタンを押して、手動モード **N** を選択しておく必要があります。



RZACD507-1

図 23. 電子キースティックのある制御パネル

- A** 「電源オン」 ライト
  - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
  - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」 押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」 ライト
- E** 「機能/データ」 表示パネル
- F** 「増/減」 ボタン
- G** 「機能開始」 押しボタン
- H** 「モード選択」 ボタン
- J** 電子キースティック・スロット
- K** ロック
- L** 自動
- M** 通常
- N** 手動







Printed in Japan